

企画展に合わせ、本号から2回にわたる連載で展示資料を紹介しします。今回は馬に関連する展示資料です。

馬形埴輪(飾り馬)

釜ノ口遺跡4号墳(堀下町)出土：古墳時代(6世紀前半)

馬は元々日本にいた動物ではなく、4世紀後半の古墳時代(約1,650年前)に朝鮮半島から伝わりました。

その後、日本でも馬が生産されるようになり、県内の遺跡からは、無数の馬のひづめ跡が発見されています。有力者が眠る古墳には、権威を示す馬形埴輪が並べられました。



初代ぐんまちゃん あかぎ国体湯飲み

昭和58(1983)年

初代ぐんまちゃんは、昭和58年に群馬県で開催された国民体育大会(あかぎ国体)のマスコットとして登場しました。初代ぐんまちゃんがデザインされたこの湯飲みは、本市で開催されたバレーボールとソフトボールの記念品です。



市指定重要文化財 境街糸市繁昌之図

慶応2(1866)年

境町の南画家金井研香によって、境町の絹糸市の繁盛ぶりを描いたものです。絵は絹糸を売る人や糸を買う商人で大混雑した様子で、中央左には購入した糸を運ぶ駄馬が描かれています。馬は交通・運搬・農耕に欠かせない存在として大切に扱われました。



企画展 歴史いきもの図鑑

時 6月14日(金)から9月1日(日)までの午前9時～午後4時30分

※月曜日、7月16日(火)、8月13日(火)は休館です

※7月15日(祝)、8月12日(月)は開館します

場 赤堀歴史民俗資料館

¥ 無料

問 赤堀歴史民俗資料館(☎63-0030)

私たちの暮らしに身近な生き物は、暮らしを豊かにしてくれる大切な存在です。現代では犬や猫をはじめ大切な家族の一員でもあります。人にとって生き物は、時代によって食料にしたり、重い荷物を運ばせたり、大切な現金収入の基にしたりと、さまざまな役割があり、暮らしの中で重要な存在でした。そして、そんな生き物を人は土器や埴輪、美術品などさまざまな「かたち」に表現してきました。

今回の企画展では、赤堀歴史民俗資料館が所蔵する馬や蚕、鳥、竜、イノシシなど原始古代から現代に至るさまざまな分野の生き物に関わる資料を通じて、私たちと生き物の「これまで」と「これから」を見つめ直します。

歴史文化講座を開催

企画展の内容に合わせた講座を開催します。

時 6月30日(日)午後1時30分～3時

場 赤堀公民館

定 100人(先着順)

演題 動物と人の関係史

講師 姉崎智子さん(群馬県立自然史博物館学芸員)

¥ 無料

申 6月12日(水)から直接または電話で赤堀歴史民俗資料館、または専用HPから申し込んでください



▲専用HP

伊勢崎市の埴輪が全国を巡ります！

文化庁が全国4カ所で開催する展示会「発掘された日本列島2024」で、赤堀歴史民俗資料館が所蔵する埴輪が展示されます。この展示会では、日本で近年特に注目を集めた出土品が一堂に集まり、本市からは石山南古墳群の人物埴輪4点と赤堀茶臼山古墳の鶏形埴輪1点が出品されます。皆さんも全国を巡る伊勢崎で出土した埴輪たちを見に出かけてみてはいかがでしょうか。

時・場

●6月8日(土)から7月15日(祝)まで=千葉県立中央博物館(千葉県)

●7月27日(土)から9月16日(祝)まで=弘前市立博物館(青森県)

●10月5日(土)から12月8日(日)まで=大阪府立弥生文化博物館(大阪府)・大阪府立近つ飛鳥博物館(大阪府)

●令和7年1月5日(日)から令和7年2月16日(日)まで=大野城心のふるさと館(福岡県)

